



## 高等部

今年は、「鬼のように強く！うらじゃ！」と「仲間とつなぐ勝利のバトン」の、二つの種目に取り組みました。『うらじゃ』と『うらじゃ音頭』では、小学部、中学部、そして観客のみなさんに、思いを届けようと、みなで威勢よく掛け声を出しながら、リズムよく踊りました。「仲間とつなぐ勝利のバトン」では、一人ひとりが力の限り一生懸命走りバトンをつなぎ、最後のアンカーがゴールするまで、しっかりと声援を送ることができました。生徒会執行部や体育委員の生徒を中心に開閉会式の司会進行や競技の準備や片付けも協力して行いました。最後は生徒会長から、最後まで応援して下さった観客のみなさんに感謝の思いを伝え、仲間と一緒に思いをつなげる運動会になりました。



倉敷支援学校、第60回となる記念すべき運動会が開催されました。晴天の下、本年度も全学部が運動場に集っての実施となりました。

私にとっては、4年間倉敷支援学校を離れて、再び赴任して行われる運動会となり、いろいろ考えながら参加していました。以前は中学部で担任をしていたころ、『うらじゃ』を踊っていたなとか、総括教務をしていたころは、耐震工事があって学部ごとに分散で運動会をしていたなとか、思い出しました。今年は小学部の教頭として、演技の中で直接子どもたちを励ましたり、キラリン(創立50周年記念キャラクター)になって子どもたちを盛り上げようとしていたりしました。

今年度運動会に向けて、「60年の絆 心をひとつに つなぐ思い」をテーマに、児童・生徒は一生懸命練習に取り組んできました。当日、各学部の特色を生かし、一人一人が練習の成果を発揮して頑張っていた姿は、学校が50周年、60周年と年を重ね、時代が変化してきても、倉敷支援学校の変わらない宝物として、次につないでほしいと思いました。そのために、教職員が一丸となって心を一つにするとともに、保護者の皆様とも心を一つにして、児童・生徒の頑張る姿を大切にしていきたいと思いました。

いろいろ考えたり、思ったりした、すてきな運動会になりました。ありがとうございました。

(小学部教頭 友浦 史郎)